

光ファイバー通信サービス



音楽や動画など、大容量のデータが扱われるようになったインターネット。これらを快適に利用するため、ADSLをはじめとした通信回線の高速化が求められています。現在、都市部を中心に光ファイバーを利用した

超高速インターネットサービス（FTTH）の利用者数が増加しており、県内でも5万件を超える契約数となっています。

町と山田町商工会では、町民の皆さんの希望状況を集約し、FTTH通信サービスの提供を通信事業者に要望するため、利用意向に関するアンケートを実施します。

用紙は行政区長を通じて配布しますので、皆さんのご協力をお願いいたします。

▶実施地区 長崎、飯岡、川向町、境町、中央町、八幡町、後楽町、北浜町、柳沢、関谷の一部、大沢の一部、織笠の一部

▶回答期限 9月20日

※アンケート実施地区とサービス提供地域は必ずしも一致するものではありません。

FTTHとは (Fiber To The Home)

髪の毛ほどの細さの光ファイバーを使用した、家庭向けのデータ通信サービス。これまでの電話線を利用したADSLと比較すると、最大10倍以上の通信速度が得られ、局舎からの距離や電磁波などの影響を受けないのが特徴。インターネットだけでなく、IP電話や映像配信など多彩なサービスを受けることができ、ADSLに替わり、次世代の大容量通信サービスとして注目を集めています。

FTTHについて学ぼう

町と山田町商工会では、FTTHサービスについての知識と理解を深めていただくため、同サービスについての研修会を開催します。町民どなたでも参加できますので、どうぞご参加ください。

▶期日 9月6日(木)

▶時間 午後7時～

▶場所 町中央公民館

▶内容 光ファイバーを使用した超高速インターネットサービス（FTTH）についての基礎研修

▶講師 臼井一平さん（NTT東日本岩手宮古サービスセンター所長）

▶参加料 無料

▶問い合わせ 役場総務課文書担当（☎82-3111内線414）へどうぞ。

利用意向アンケートにご協力を



宮古警察署山田交番所長
菊地一弘さん（47歳）

シートベルト締め 安全運転心掛けて

今年発生した事故をみると、前方不注意や左右の確認を怠ったために起きたものが多くなっています。また、シートベルトをしていなかったために、亡くなってしまったという方もあります。自分の生命を守る道具の一つですから、ぜひともシートベルトを締め、周囲をよく確認して運転していただきたいです。また、町内での飲酒運転も増えつつあります。自分で大丈夫だと思っけていても、周囲から見れば酔っているのは一目瞭然。たとえ家がすぐ近くであっても、お酒を飲んだら絶対に運転してはいけません。山田交番でも、シートベルトや飲酒運転、スピード違反の取り締まりを行うとともに、町内のパトロールも強化して事故防止に努めてまいります。

事故が起きて困るのは本人だけではありません。ご家族や友人など、周囲の皆さんも当然悲しい思いをすることになります。スピードを控え、くれぐれも安全運転を心掛けるようにしてください。

の順となっておりますが、飲酒運転による事故も依然として発生しており、今年発生した死亡事故4件のうち2件が飲酒運転によるものだといわれています。悲惨な事故を巻き起こす原因となり、全国的に問題となっている飲酒運転。今年6月に道路交法が改正され、酒酔い運転は5年以下の懲役または100万円以下の罰金、酒気帯び運転では3年以下の懲役または50万円以下の罰金と、飲酒運転の罰則が厳罰化されました。また、飲酒運転を容認したり、飲酒運転する恐れのある人に車両や酒類を提供した人に対する罰則も

同様に強化されました。言うまでもなく、お酒を飲んで車を運転することは絶対に許されない行為。事故を起こして悲惨な結末を迎える前に、飲酒運転は今すぐやめましょう。

◇ ◇ ◇
ドライバーの皆さん、事故を起こさないための基本は、安全の確認と交通ルールを守ること。ちよつとよそ見をしたりほかのことに気を取られたり、ささいな原因が大きな事故につながります。車はときに危険な凶器にもなりうるということを心に留め、いつもより少しだけ緊張感を持って運転してください。

交通死亡事故本町で相次ぐ

気持ち引き締め安全運転を



◆本年度交通事故発生件数（7月末日現在）

	発生件数	死者数	傷者数	物損件数
山田町	29	3	28	99
前年比	6	1	△6	2
宮古管内	129	7	162	494
前年比	△9	4	△12	△109

町内では今年に入ってから交通事故が多発しており、7月末日現在の人身事故は29件（前年同期比6件増）となつています。また、事故による死者は3人（同1人増）、傷者は28人（同6人減）と昨年を上回るペース

町内で交通事故が多発しています。特に7月から8月のわずか1カ月の間に3人も尊い生命が失われるなど、昨年を上回るペースで発生件数が増え続けています。悲しい事故がこれ以上起きないように、わたしたち一人一人が意識を変えていかなければなりません。

で増え続けています。

県内でも同様に交通事故が多発しており、7月末日現在人身事故は3069件、死者数は57人、ともに全国ワースト1位、傷者数は3816人で全国ワースト2位と、事故に歯止めがきかない状況になっています。

1カ月で3件の死亡事故

7月14日に大沢の国道で交通死亡事故が発生し、23日には三陸縦貫自動車道山田道路の織笠地区で若者が亡くなるという痛ましい事故が発生しました。相次ぐ死亡事故に事態を重く見た町交通安全対策運動協議会（会長・沼崎喜一町長）は、同月25日から8月3日まで交通事故非常事態宣言を発令。同協議会は関係機関と街頭啓発活動を実施、宮古警察署では取り締まりや検問を強化するなど事故撲滅に取

県内に交通事故非常事態宣言

県内の交通死亡事故の続発を受け、県交通安全対策協議会では、8月27日から9月5日まで、交通事故非常事態宣言を発令しています。県内では8月に入ってから事故が多発し、特にも8月19日から25日の7日間では7人が犠牲になっています。ドライバーはスピードを控え、早めに休憩をとるなどし、歩行者も反射材の着用や道路を渡るときには安全確認をしっかりと行い、お互いに交通事故に遭わないよう十分に注意しましょう。

▶問い合わせ 県交通安全対策協議会（☎019-629-5330）へ。

り組んできました。

しかし、8月19日に豊間根の国道で交通死亡事故、24日も船越の国道で交通事故が発生するなど、事故撲滅の願いもむなしく、わずか1カ月の間に3人の尊い生命が犠牲になってしまいました。

なくならない飲酒運転

今年1月から7月未までに宮古管内で発生した交通事故は129件。原因としては前方不注意が最も多く、次いで自転車の事故、高齢者ドライバーの事故